



五木東小 第31号

学校便り
文責
生田 文明

春 すぐそこに



立春を迎えたとはいえ、まだまだ寒い日が続いています。そんな中、学校の国道脇では、一年生が種まきしたアブラナが、寒さに耐えながらも、花を咲かせ始めました。花一輪一輪から、優しさ・温かさ感じられ、眺めているといつの間にか寒さを忘れてしまいます。日一日と花が咲き誇り、たくさん花で学校を彩ってくれよう。今からとても楽しみです。

福は内 鬼は外



三日の節分に、今年も子どもたちの「わがまま心」「いじわる心」に見立てた、鬼がやってきました。子どもたちは、突然教室に入ってきた鬼にびっくり。しかも昨年よりも、現代風にバージョンアップしていました。

「福は内、鬼は外」といいながら、やってきた赤鬼や青鬼を自分の心の「わがまま」「いじわる」の分身として追っ払いました。また、優しい心の「五木ちゃん」も登場。子どもたちと一緒に鬼を追い払ってくれました。

暦では、節分の次の日は立春。春の始まりです。節分の日に心の



鬼・災いの鬼を追い払うことができました。これからの一年も楽しく、安心・安全な年にしていきたいと思います。

創造力豊かに



工作展に向け、子どもたちは想像力を働かせ、作品を制作しました。身の回りにある空き箱・色紙・段ボール・針金・枝・ねん土などを利用し、それぞれの素材を生かした、キリンや猫などの動物・動くおもちゃ・部屋や公園のモデル・オブジェなど、個性豊かな楽しい作品に仕上げました。

人吉クラフトパーク石野公園展示館で開催中の熊本県小中学校工作展（二月六日～二月十九日）に各学年の代表作品を、二月二十二日五木源ふれあいフェスティバルには、校内工作展として全児童の作品を展示予定です。

力作ぞろいの子どもたちの作品をぜひご覧ください。



力の限り挑んだ

八日は、今年度最後の大会となる人吉球磨少年サッカー大会と人吉球磨小中学生バドミントン大会が開催されました。

サッカー大会の六人制六年フレンドリーの部では、予選リーグで岩野小と万江小に敗れ、決勝トーナメントには進めませんでした。しかし、六人ぎり

ぎりのメンバーで、最後まで果敢にボールを追う姿は、みんなに感動を与えました。

一方女子の部では、一武小と引き分けましたが、人吉西小Bに勝ち予選リーグ一位で決勝トーナメントに進むことができました。十五日に決勝トーナメントがある予定です。予選同様に力の限り挑んで欲しいと思います。

バドミントン大会では、五年ダブルスで数山・福岡組が三位、シングルスでは、五年東さんが四位入賞を果たしました。

先日の下球磨大会よりもみんな上手になっていました。最後まで諦めることなくシャトルを追っていて、素晴らしかったです。

負けて悔し涙を流した児童もいました。その悔しさをバネにこれからも練習を積み重ね、来年も頑張ってください。

